

広報 **なかがま** 5月号



雨後の筍

晩春から初夏にかけて、旬と言えはやはり上位にランクされるのが筍ではないでしょうか。

筍は、孟宗竹、苦竹(真竹)、淡竹(破竹)などの地下茎から出る新芽。煮たり茹でたり、筍飯にしたりして賞味されます。

ご存知のとおり、雨上がりの地面にニヨキニヨキと頭を出すイメーヂで、次々と出現する様子のことを「雨後の筍」と言います。

また、故事に基づく成句に、「雪中の筍」という言葉がありますが、これは、昔中国の孟宗が、母親が望む筍を探しに冬の竹林に入り不思議にも筍を見つけたということから、孝心の厚いことに用いられます。孟宗竹の名は、この故事にちなむものです。

筍に限らず、殆どのものが年中食べられる現在、季節を楽しむ心を大切にしていきたいものです。

今月号の主な内容

- 施政方針…………… 2・3・4
- 一般質問…………… 4・5・6・7・8・9・10
- 第1回定例会…………… 10・11
- 予算の使いみち…………… 12・13・14・15
- シリーズ「ごみ問題」②…………… 16
- 人権作文ほか…………… 17
- お知らせ…………… 18
- 福祉コーナー…………… 19
- 新採職員紹介…………… 20
- 紹介コーナー…………… 21
- ルポ・文芸…………… 22
- 表彰・一歳です…………… 23

和をもつて素晴らしいまちづくりを

町民の皆さんがまちづくりの主役

平成九年長浜町議会第一回定例会が、三月十二日から十四日までの三日間の会期で開かれました。

今回の議会では、上程された議案三十八件の内、平成八年度長浜町一般会計補正予算、長浜町営住宅管理条例、平成九年度長浜町一般会計予算、長浜町固定資産評価審査委員会委員の選任などの議案三十七件は原案のとおり可決されましたが、長浜町議会議員等の報酬、費用弁償及び期末手当支給に関する条例の一部を改正する条例についての議案一件は、今日の厳しい社会情勢の中自立的な地域づくりを推進するなどの観点から否決されました。

また、例月出納検査、寄付採納などの議会報告案件三件はすべて受理採択され、人権擁護委員候補者の推薦についての議案一件も原案のとおり可決されました。
なお、それぞれの議案等が審議される前に、上田町長が平成九年度の施政方針を表明し、続いて七人の議員が一般質問を行いました。施政方針、一般質問、可決された主な議案のあらましをご紹介します。



平成九年度施政方針を述べる上田町長

町民の皆さんと

共に町政推進を

平成九年度施政方針

厚生省汚職や薬害エイズ問題、

また最近ではオレンジ共済事件など、経済の不透明感のみならず一部の公務員や政治家の倫理観の欠如が、国民との間に不信感を湧出させている状況の中、私共は町民の皆さんの思いを町政に反映し、

幸せや長浜町民であることの誇りを実感できるような町づくりを、行政・議会が丸となって進める必要があると改めて痛感しているところである。

そのベースとなるのが、幸せづくりの予算編成であるが、これは公債残高の増加等、国・地方の別を問わず大変厳しい状況にある。

このような動向をふまえ、当町予算編成は総額五十億三千六百

四十万円で五・七%の伸びとなっており、過年度災害復旧事業費を除けば二・五%の増で、昨年引き続き一般経常経費は特別なものを除き可能な限り抑制している。

スポーツレクリエーションの

中核広場として

港湾整備については、当町にとつて極めて重要な施策であり、第九

次港湾整備五カ年計画に沿った公共岸壁や小型船だまり、沖防波堤整備を積極的に推進したいと考えている。

小型船だまりの環境緑地については、平成八年度中には給水施設と多目的広場の盛土が完了する見込みであり、九年度は将来に向けたスポーツレクリエーションの中核広場として黒松の植栽をはじめ、トイレ、シャワー室等の施設整備

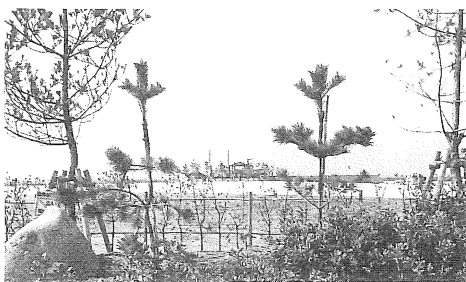
を行いたい。

ネットワークの

形成を

交通体系の整備について、国道三七八号の整備促進は、当町の生活、文化、経済にますます大きな影響を及ぼすものと考えており、このことに配慮したハイモビリティネットワークの形成が必要と認識している。

町道では、白滝大橋の架橋を含む白滝柴線や黒田大屋線をはじめ幹線町道の継続した整備、県道では大洲長浜線、長浜中村線、長浜保内線や櫛生大洲線についても、町民の豊かな暮らしと、経済を支える社会空間としての道路構築に努めていきたい。



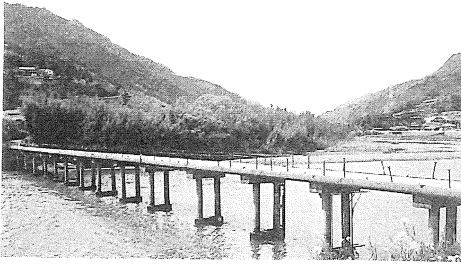
整備が進む環境緑地

また、安全で快適な生活環境確保のため、地滑り対策事業や治山事業、急傾斜地崩壊対策事業等の諸事業の導入により、定住基盤の整備を図る考えである。

さらに協議を

重ねて

続いて激特事業については、六ヶ所の内、岡地区については用地測量中であり、九年度には計画説明と補償交渉に入りたい。また、他の四地区の内二地区は交渉済みであり、他の二地区は補償交渉中で九年度中には住民の皆さんのご理解を頂き工事着手に入る予定である。



築堤が予定される柿早地区

大和地区については、計画協議の段階であるが、地区全体の地上

げの要望が出ていますが、今後さらに国・県・町・地元との協議を重ねていきたい。なお、激特事業に伴う各支川改修及び一般改修事業についても、地域のご意見に十分配慮したもので進めたいと考えている。

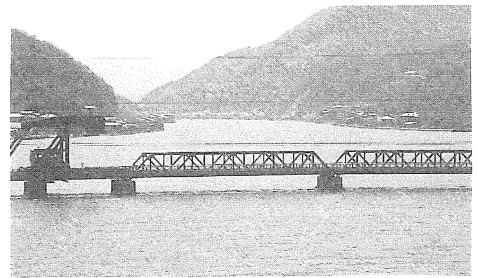
町民総意の

結論に結びつけて

次に山鳥坂ダム建設と中予分水については、ここ数十年來、この問題が町民の皆さんの心を揺るがせ、ご心配をおかけしていることを、町政を預かる者として大変申し訳なく思っている。しかし、私の本問題に対する基本姿勢は何ら変化を来たしておらず、町民の皆さんに建設省や愛媛県の説明を聞いていただき、町民総意の結論に結びつけていく必要があると考えている。

建設省では肱川の塩水遡上調査が進められ、大洲市では地下水調査を行っているが、当町にとってもこの調査は大変重要であると考えており、現状把握の意味からも町民の皆さんのご協力を頂き、今後町内の地下水調査を進めたいと考えている。

また、このダム問題は議会も行



今後町内各所で地下水調査が進められる予定

政も町民の付託に応えねばならないという大変重要で優先する問題であり、度々の要請にはなるが山鳥坂ダム調査対策特別委員会の委員の選任を頂き、町民の窓口として行政と議会が一体となった姿で臨んでいきたいと考えている。

商工業の一体化

による発展を

産業振興については、担い手確保の積極的な支援が必要であり、将来を展望した中で、生産基盤の整備を計画的に継続していく必要があると考えている。

農業については、農道及び作業道の開設、適地適作や農地の流動化等を推進したいと考えており、林業についても、幹線林道、林内

作業道の開設、作業班の確保や特用林産物椎茸の高品質化を図っていきたく考えている。

漁業については、魚礁、築いその造成や稚魚の放流事業等により、良好な漁場の確保を図ると共に、出海漁港の港内整備や櫛生・喜多漁港の修景を行い、快適で安らぎのある漁港づくりに努めていきたい。

さらに商工業では、経営改善や地域振興事業等に対し、商工会を通じて支援すると共に、工業と商工業の一体化による産業経済の発展を図っていく考えである。

観光PRと

施設の充実を

次に、今年度の新しい試みとして、広域圏の地域型個性化事業「龍馬クルージングin瀬戸内」を実施することにしており、坂本龍馬の脱藩ルート（海路）での、圏域の小中学生を対象にしたクルージングにより、大洲市・喜多郡と龍馬との深い関わり等の船内研修等を行い、今後地域の活性化に向けた事業に発展させたいと考えている。

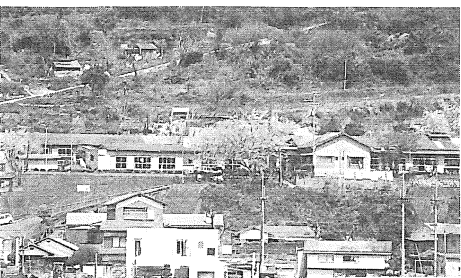
また、橋を活かした町づくりに関しては、赤橋を見に来られた方

が涼や暖をとっていただいたり、説明が行えるような赤橋のイメージにふさわしい案内所を設けたいと考えている。

さらに、赤橋と共に肱川あらしも活かした企画としてのフォトコンテストなど、豊かな自然や文化遺産を活用し、観光PRはもとより観光施設の充実を逐次図ってきたい。

より一層の 充実を

次に、福祉については、長浜町老人保健計画に基づき、より一層充実を努めていきたいと考えている。また、白山園の移転改築については、長浜町総合福祉施設整備計画に沿って、平成九年度中に位



移転改築が予定される白山園

置決定を行い、可能な限り早急に着手したいと考えている。
保健については、現在、保健行政の核として十月末完成を目指し保健センターを整備中である。

これを機として、予防体制の強化、健康教育の充実、生活指導の徹底等を図ると共に、心身障害児相談事業、リハビリ教室、健康フェスティバルの開催等、町民の健康づくりのための諸事業に取り組んでいきたい。また、この施設も将来的には、整備中の環境緑地とリンクさせたヘルスゾーンのなものと、心身の健康づくりに配慮したものになりたいと考えている。



工事が進む保健センター建設現場

標にしており、当町においても、その具体策として長浜町分別収集計画を策定したところである。

一方、ごみ量増大による環境センター稼働時間の延長、満杯となる最終処分場、不燃物処理施設の代替施設等の諸問題の解決には膨大な予算が必要となることは必須である。このため、平成九年度内には廃棄物減量等推進協議会(仮称)を設置し、ごみ有料化の手法や実施時期等徹底した検討を加え、廃棄物処理に関する総合的施策を推進したいと考えている。

公民館を拠点とした

生涯学習の推進

次に、教育についてであるが、白滝小学校改築計画の検討や戒川スクールバスの更新を図る予定である。

同和教育については、学校教育活動と同時に、保護者や地域と連携した教育を推進する考えであり、町では、教育の基本に人権教育の推進を重要課題と位置づけ、すべての住民が人権を尊重し、明るく住みよい心の通い合う地域づくりに取り組んでいきたいと考えている。

さらに、いじめと不登校問題に

ついては、現在各校区毎にいじめ問題対策協議会を設置しているが、生徒の指導体制の見直しと再点検を行い、その根絶に最善の努力を払いたい。

また、地域の文化と伝統に学び、郷土を愛する心を育てるふるさと教育を推進すると共に、生涯学習の町づくりの視点に立った社会教育の推進のための「長浜町生涯学習のまちづくり推進委員会」を設置し、各公民館を拠点とした生涯学習社会の実現等をより強力に推進していきたいと考えている。

温かさが感じられる

人間関係を

私たちの周りには、便利さや豊かさ故に失われるものもあるが、失ってならないのは長浜町民らしい、血の通い合った、何か温かさが感じられるような人間関係であるように思う。

私も町民の皆様と共に町政推進のために努めて参りますので、どうか、町民の皆さんが和を持って本心に素晴らしい町づくりの主役を担っていただくようお願いしたい。



一般質問

激特事業の対応等 ダム建設に伴う

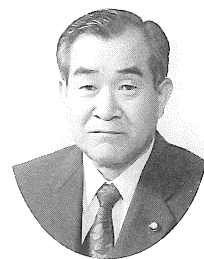
分水に対する姿勢

沖浦公民館改築に

伴う予算等

町長の政治姿勢

二 宮 英 二 議員



職員体制を 充実させて

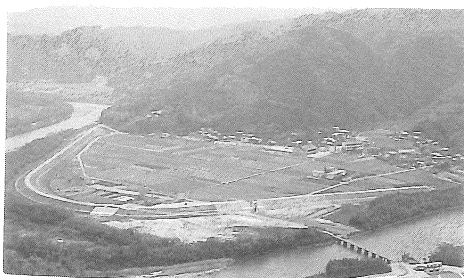
質問：激特事業は、百億円以上

に上る事業費という大事業であるが、この詳しい進捗状況はどうなっているのか。また、取り組み方として議会に特別委員会を設置してこの事業を研究調査、推進してはと思うが、町長の考えはどうか。

答弁(町長)：町内の激特事業

六カ所の内、中・岡地区については、計画説明会を終了し現在設計測量を行っており、終了次第地元説明会を実施する予定である。

豊中地区については、用地交渉もほぼ完了し、九年度早々には工事に着手できる予定であり、白滝・田ノ淵地区については全て交渉は終わっている。柿早地区について



整備が進む豊中堤防

は、用地交渉中であるが、地権者の皆さんのご理解を得て九年度早々には契約を完了し、工事に着手できるものと思っている。

また、大和地区については、地元協議の段階であり、今後地元要望を踏まえ国・県・町及び地元の方々と協議を重ねて、よりよい方向で推進したいと考えている。

なお、この事業の円滑な推進を図るために、九年度の人事異動時には職員体制の充実を図るようにしており、また、議会においても特別委員会の設置をお願いしたいと考えている。

質問：山鳥坂ダム建設に伴う分水に対する町の取り組み姿勢については、今一つ物足りない気がする。ただ単に、町民の不安が払拭されない限り反対であるという答えでなく、町民がどのような心配をしているのかという事項を、先取りして、町が調査研究し、議会と共に責任を持って対応すべきと考えているが、町の考えはどうか。

答弁（町長）：このことについては、一括して答弁を行います。

内容の豊かな立派な館に

質問：旧長浜中学校跡地の公園整備について、一日も早い完成を望んでいるところである。また、

沖浦公民館改築についても立派な公民館の完成を望んでおり、これに伴う当初予算が一部計上されているようであるが、完成まではいくらくらいかかるのか。また、完成時期はいつ頃か。

答弁（町長）：沖浦公園について

では予定どおり三月で完成する。沖浦公民館改築については、当初予算で設計委託料・土質調査委託料等を計上しており、工事請負費で大体一億五千万円はかかるであろうと考えている。六月には設計を完了し年度内完成を図りたいと思っており、地域の皆さんに喜んでいただけるような、内容の充実した立派な館に仕上げたいと考えている。

職員ともども研鑽を積んでいきたい

質問：最近のこの厳しい時代の中、町長一人の力ではどうにもならない点が多々あるかと思うが、

いろいろな角度で職員指導をすることが町の発展につながるのではないかと考える。これからの行政に積極的に取り組んでいく姿勢を忘れず、最大の努力を払ってもらいたいと思うが、町長はどう考えているのか。

答弁（町長）：私の基本姿勢というものは変わるものではなく、「町づくり・里づくり・心づくり」の町政を、社会経済情勢がどのように変容しても町民の方々の温かいご支援がある限り、勇気を持って進めていきたいと考えている。

何と言っても町民総参加の行政が不可欠で、心と心がふれあい、豊かさが実感できるような町づくりが大切であると考えており、町民サイドにたった町づくりに一生懸命頑張っていきたいと思っ

また、二期目の折り返しになったが、山積する課題を避けて通る気持ちは毛頭なく、職員ともども研鑽を積み町民の皆さんの幸せのために尽くしていきたいと考えている。

九年度予算について

肱川改修事業

海岸の保全



中野茂明 議員

節減合理化し

長期的展望で

質問：国同様大変厳しい財政状況下において、どのような方針で平成九年度予算編成に取り組む、その規模はどのようにして決めたのか。また、消費税についてその内の1%が地方に振り分けられると聞いているが、その内容はどのようなになっているのか。

さらに、少子・高齢化社会を迎え、町民の行政に対する需要は益々増大してくると思われるが、来年度の主要事業はどのようなものが

公民館改築、町道新設改良や農林水産振興事業等を計画している。なお、消費税については、人口と事業所割りで地方消費税交付金として1%返ってくるようになっており、今のところ大体三千万円を見込んでいる。

国・県と協議を

進めながら

質問：肱川改修事業について、最近大和地区で協議会なるものができたと聞いているが、どうい話の状況になっているのか。

また、白滝・柴地区では堤防・樋門ができつつあるが、集中豪雨時には、高い堤防のため水が外へ出ないという状況になるのではないか。できあがった樋門について



整備が進む白滝堤防

質問：国同様大変厳しい財政状況下において、どのような方針で平成九年度予算編成に取り組む、その規模はどのようにして決めたのか。また、消費税についてその内の1%が地方に振り分けられると聞いているが、その内容はどのようなになっているのか。

さらに、少子・高齢化社会を迎え、町民の行政に対する需要は益々増大してくると思われるが、来年度の主要事業はどのようなものが

は、運用によっては重大な責任問題が起り得るのではないかと考えるが、管理は誰が当たるのか。

次に、現在、改修は上流から行われているが、下流からするのが妥当ではないか。それには、河口を広げるのか、護岸を高くするか、赤橋の処遇はどうなるのか。これらのことを考えて、五郎地区から伊予灘への導水路を造ってはどうかとの提案がある。最善の方策を講じてもらいたいと思うが、どう考えているのか。

答弁(町長)…大和地区については、「肱川改修大和協議会」が発足され、その役員さんと建設省・県・町の四者による一回目の会合でご意見ご要望等をお聞かせいただいたところである。私としては、大和地区で受け皿ができたという事は大変ありがたく思っており、本事業を円滑に推進する上で極めて重要な役目を担っていただけるものと認識し、今後、当協議会の皆さんと共に全力で取り組んでいきたいと考えている。

次に、内水対策については、建設省と協議を図りながら、洪水対策や下水施設による内水処理等について個々に検討を行っており、整備の方向性が確立された地域から速やかに取り組んでいきたいと考えている。

また、樋門の管理についてであるが、基本的に河川については全て建設省であり、下水排水等については町管理になるものと思っております。運用については難しい問題があると思っており、今後ともまだ勉強して行かねばならないと考えている。

次に、河川改修を下流からすることにについては、私も基本であることと認識しているが、激特事業採択により最優先して進められているところである。今後、小浦・沖浦・河口右岸部の改修については、県道改良と併せ、赤橋をどのような形で保存させていくべきかという事を含めて検討していきたいと考えている。

また、導水路については、余りにも大きなプロジェクトであり、大変難しい問題であるが、今後、国・県の関係機関に対し提案していきたいと考えている。

親水空間創出を 意図した整備を

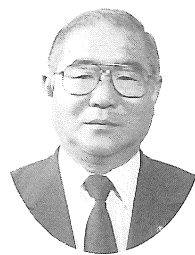
質問：高等学校の地先は、二年前くらい前までは美しい浜辺があったが、現在は波に洗われ護岸がむき出しとなり、消波ブロックは流

されはしまいかと心配しており、付近の人たちもしぶきに悩まされている。被害が出る前に、海岸保全の対策を立ててもらいたいと思うが、どう考えているのか。

答弁(町長)…当海岸は、港湾海岸として県管理に属しており、肱川からの流出土砂や漂砂の堆積による砂州で形成されている。刻々変化する地形形状への大きな寄与率については、明確なメカニズム

肱川改修について

大洲長浜線と国道三六号 の旧町内部分



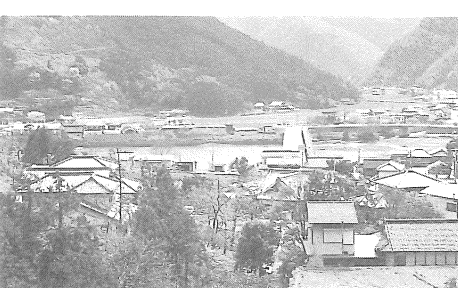
の解明はされていないが、近年の小型船だまりの整備に追随した諸変動要因の顕在化が、汀線の変化に影響を与えているものと推察している。現在、小型船だまりの緑地と緩傾斜護岸等環境施設との一体性の図れる親水空間の創出を意図した海岸整備について県に要望中であり、その範疇での検討の可能性について協議していきたいと考えている。

渡邊久義 議員

最善の 努力を払って

質問：大和地区で操業中の企業は七社で、全て堤防予定地内であり、買収は何年頃か、移転先は、という企業の不安はもろろん、勤めている人たちの働く場の心配などがある。これらの不安を解消するためにも、町の支援・協力が不可欠であると思うが、どう考えて

次に、堤防・県道用地内の立退者の住宅用地の斡旋・供給、工事期間中の仮住宅対策については、町内の希望地を斡旋・供給するのとが人口の歯止めになるのではないか。早急に取り組み、住民の定住、人口増に努力すべきだと思うが、どう考えているのか。



築堤が予定される大和地区

ているが、どのような体制づくりを考えているのか。

答弁(町長)…大和地区の操業中企業への対応についてであるが、当地区については、激特事業と一般改修事業の両面から、どんな方向で推進すればよいか地元の方々と協議を行っているところであり、各企業のご意向をお聞きし、できる限り地元での代替地の確保に努め、企業撤退につながるよう最善の努力を払うべきだと考えている。なお、代替地の確保に当たっては、地元ということになると、今後地域の皆さん、地権者の皆さん、議員各位のご理解ご協力を賜らなければならないと考えている。

次に、堤防・県道用地内の立退者の対応についてであるが、立ち

一般質問

退き之余儀なくなつた方々に対し
では、本人のご要望を十分に配慮
した中で、代替地の確保に努め、
人口流出の原因とならないよう行
政としての努めを果たさねばなら
ない。仮住宅については、通常立
退の場合は、移転先の住宅が完成
した後に立退をしていただく方法
が採られており、仁久・白滝・柿
早地区等についてはこの方法で進
めている。大和地区については、
今後計画の推移に合わせて対処し
ていきたい。町全体における定住
対策については、大変重大な課題
であり、皆さんの声を顕著に受け
止め真剣に検討していきたいと考
えている。

また、脇川改修対策課(仮称)
については、先程申し上げたとお
り平成九年度の異動時には設置を
するようにしている。

早期着工に向け
努力していきたい

質問：仁久岸本石油間の改修
については、脇川改修と県道拡幅
の両工事があるが、仁久地区の合
併施行部分、岸本石油店付近はそ
れぞれ何年頃の予定で、施行内容
はどうなっているのか。国道三七
八号岸本石油店付近については、

現在でも朝夕混雑し、早急に対応
しなければ住民の日常生活に支障
を来すことになりかねないと思っ
ているのか。

答弁(町長)：仁久岸本石油
店間については、八年度中の完了
を目指し公図の訂正をしているが、
これが一年から一年半遅れており、
終了次第地元説明会を開く予定で
ある。従って、現時点では着工年

職員の資質

パソコン
(インターネット)
の導入



日高照友 議員

一層厳しい
姿勢で臨む

質問：職員の資質によつて輝い
ている町とそうでない町があるよ
うに、職員一人ひとりが目的意識
を持って行政改革に取り組んでい
く必要があると思われるが、企業
感覚を養うために官民の機関への
出向や研修機会を充実させ、職員
の能力向上を図るべきではないか。

答弁(町長)：職員の資質につ
いては、私は常々、郷土に
根ざし親しまれる職員となるよう
地域の各種行事への積極的な参加
を指導している。また、青年海外
派遣事業や県への派遣、県の研修
所や町村会での研修、町づくり先

度を明確には言えないが、早期着
工に向け努力をしていきたいと考
えている。また、施行内容につ
いては、二車線、総幅員十四mの道
路の予定である。
国道三七八号岸本石油店付近に
ついては大変交通渋滞を来してお
り、改良計画の中でも、特にこの
区間を優先的に整備していきたい
と考えているのでご理解いただき
たい。

行政を

情報発信基地として

進地視察研修、町独自の職員研修
などを実施し、資質の向上を図っ
ている。
また、守秘義務については日頃
より、公務員としての自覚と責任
の持てる言動をとり、町民に信頼
される職員であるように指導して
おり、町民の信用を失うような職
員はいないものと思つてはいるが、
なお一層厳しい姿勢で臨む考えで
いる。

質問：事務効率を向上させるた
めに、各課にパソコンを設置しネッ
トワーク化を図っていく必要があ
るのではないかと思われる。
現在、地方自治体の業務の効率
化と情報の共有化を目指して、多
くの行政機関ではパソコンネット
ワークの構築を進めており、観光
や福祉等、住民へのサービスを提
供する意味からも、庁舎内や連絡
所等のネットワーク化に積極的に
取り組むべきではないか。

次に、町の顔である駅前観光
案内所では、町づくり委員会の事
務を兼ね事務員が週四日対応して
いるが、パソコンも設置してあり、
施設の有効利用と情報発信を兼ね



情報発信基地として活用が期待される観光案内所

た常備職員の配置は考えているの
か。また、管理体制はどのように
するのか。

答弁(町長)：現在庁舎には、
パソコン九台、端末機十三台と専
用ワープロ三台を各課に配置して
いる。時代の流れはパソコンへと
移行しており、インターネットの
ホームページ開設などその利活用
は避けて通れないことから、九年
度には、パソコンを使ったワー
プロ研修による技術の向上と、文書
の統一化等文書管理を考慮した庁
舎内のパソコンネットワーク構築
の準備を進めるとともに、町民の
インターネット通信の利活用につ
いても推進していきたいと考えて
いる。

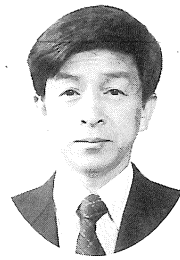
次に、駅前の観光案内所につ
いては、現在、年間百二十日程度町

づくり委員会が常駐し、観光PRをはじめ、情報交換等を行っている。今後の活用については、パソコンとインターネットを活用すべくできるだけ早く人材の育成を図

り、将来は行政を情報発信基地として施設に端末を設置し、誰でも気軽に町内外の情報が得られる体制づくりを行いたいと考えている。

農山村の振興

について



矢間 一 義 議員

行政としての 支援を継続して

質問：農山村の過疎化の要因としては、重労働、大型農業ができないこと、農産物の価格低迷など

により、若者が農業を嫌うことにあると思われる。中でも、地理的なことは各々の力では限界があり、園地の改善改良による広く平坦なほ場づくりが最良の改革策だと考えるが、このことと、農業・作業道の新設、舗装率の向上・充実など、農林業の抜本的な改革を願うが、現状と今後の方策についてどう考えているのか。

次に、農山村の高齢化について、

進協議会も開催されるようである。合併すれば、農協と行政の結びつきはどうなるのか。また、これらについてどのような対応策を考えているのか。

老人福祉行政として、みどり苑のデイサービスの活用のため山間部へのマイクロバスの乗り入れを望むが、その是非と山間部における老人対策の現状と今後の方針についてどう考えているのか。

また、農山村では、後継者不足、嫁不足により子どもは激減の一途である。このことが、保育所・学校の存続問題と発展することは必定であると思うが、これらの現状、今後の見通し、行政の在り方についてどう考えているのか。

最後に、農協・森林組合等の経済団体の大型合併についてであるが、当町の農協においてもいろいろと検討がなされているようであり、九年度からは合併のための促

進協議会も開催されるようである。合併すれば、農協と行政の結びつきはどうなるのか。また、これらについてどのような対応策を考えているのか。

また、当町は、高齢化率二七・八%という超高齢化の町になっているが、高齢者に対する福祉の支援や援助について常に念頭に置き、寝たきり老人の方や独居の方の状況を把握しアフターケアを福祉課に努めさせている。特に山間地においては、平成八年度から「独居高齢者見守り推進委員制度」を発

足し、相談相手や安否の確認をさせていただいており、一人暮らしの高齢者に対しては、「緊急通報電話機」を設置し、非常時の対策をしている。みどり苑のデイサービスについては、広域事務組合で取り組んでいるが、原則としてバス運行は一時間以内に取り決めがな

されている。特に山間地においては、平成八年度から「独居高齢者見守り推進委員制度」を発足し、相談相手や安否の確認をさせていただいており、一人暮らしの高齢者に対しては、「緊急通報電話機」を設置し、非常時の対策をしている。みどり苑のデイサービスについては、広域事務組合で取り組んでいるが、原則としてバス運行は一時間以内に取り決めがな

されている。特に山間地においては、平成八年度から「独居高齢者見守り推進委員制度」を発足し、相談相手や安否の確認をさせていただいており、一人暮らしの高齢者に対しては、「緊急通報電話機」を設置し、非常時の対策をしている。みどり苑のデイサービスについては、広域事務組合で取り組んでいるが、原則としてバス運行は一時間以内に取り決めがな

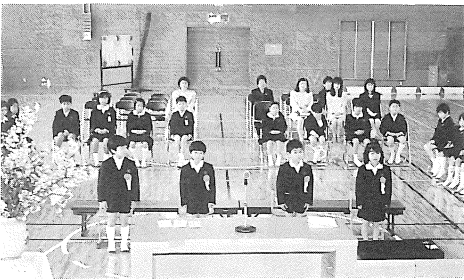
派遣の活用をしていただきたい。将来は、養護老人ホーム白山園移転改築時のデイサービスの充実を図っていきたいと考えている。

次に、少子化の現状と今後の見通しであるが、このことは本町だけでなく日本の大きな問題となっている。現在、町立八保育所の入所児童数は年々減少しており、将来は保育所の存続問題に発展し兼ねず、保育所の統廃合を検討し、早くその方向を定めねばならないと考えている。また、このことによる小学校での複式学級の増加は

明らかでありその指導方法も急がなければならず、中学校における学級数減も明らかである。これらのことを念頭に置き、教育の充実を図るべき方向を二十一世紀までに決定しておかねばならないとい

う行政としての責任があると考えている。

農協合併についてであるが、大洲喜多地区では、平成九年度から関係機関が参画して「合併促進協議会」をスタートさせ、平成十年四月の合併に向け検討がされるといふことであるが、行政としても参画していく考えである。森林組合については、今後の組合運営を考えた場合、合併は必要であると考えているが、現在、組合と行政で策定中の「流域林業活性化実施計画」の推進により、早まるのではないかと予測している。



児童4人の入学式（柴小学校）



5月12日は「看護の日」

とにかく両組合は、農林業振興上、実践組織として重要な役割を果たしていただいております。合併による中山間地域の活性化を大いに期待し、行政としても可能な限り支援したいと考えています。

老人福祉対策

企業誘致並びに地域産業育成

山鳥坂ダム建設並びに

中予分水反対意見書

の取り扱い

松山市久米ため池埋立

菊地儀明 議員



プロジェクトチーム で本格的に推進

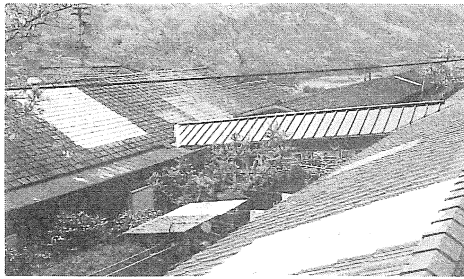
質問：老人福祉対策について、急激に進む高齢化の中でそれに対応すべき福祉施設の整備が必要である。平成五年以降の一般質問の答弁から、特別養護老人ホームを中心とした整備計画については、プロジェクトチームを編成し進めるものと記憶しているが、このこ

とは多くの町民が実現を待ち望んでいる。環境の整った、快適で安らぎとゆとりある余生を安心して送れる施設を、一日も早く建設することが今後の課題であると思うが、どう考えているのか。

答弁（町長）：特別養護老人ホームについては、大洲市喜多郡に四施設有り、国が定める整備率をオーバーし設置が非常に難しい状況であり、養護老人ホーム白山園移転改築の事務を先行していきたいと前々からお話ししてきたが、プロジェクトチームによる検討を重ね、現在、老朽度調査も完了し、候補地についても目処をつけ平成十年

度には着手できるようにしたいと考えている。

また、このことについて、本年二月に地方局から「白山園移転改築についての協議書」の平成九年度提出の指導を受けたが、そうなる、用地取得、施設建物設計の段階になり、プロジェクトチーム



老朽化が進む白山園

の作業も本格的に進むものと考えている。

積極的に推進

していききたい

質問：町の人口減の歯止め対策として、企業誘致と地域産業の育成をし、雇用率を高め、定住促進を図れば将来に向けての展望が開かれるものと考えている。平成八年十一月には「大洲喜多・八幡浜地区企業立地促進協議会」が設立されているが、その後どのように運営されているのか、また、これらを踏まえ今後の町の対応はどう考えているのか。

答弁（町長）：大洲市・八幡浜市・郡内五町村で構成する企業立地促進協議会は、広域的な企業誘致推進を目的に設立され、県内外の情報収集、研究機関である幹事会をはじめ、工業用地の造成に必要な優良団地の状況等を調査、研究するために、広島県内の先進的工業団地の視察・研修を実施している。また、企業誘致のための資料として、PR用パンフレットの作成に向け、企画検討等諸事業を展開している。

なお、従前どおり、町単独での企業誘致を積極的に推進する一方、

広域的にも、当協議会との協調体制の下、一体となって推進していきたいと考えている。

質問：山鳥坂ダム建設並びに中予地区分水反対の意見書については、平成七年九月の定例議会において全会一致で採択され、その後関係機関への提出確認のために、昨年三回にわたって質問がされているが、現在どのように処置をしているのか。

答弁（町長）：このことについては、一括して答弁を行います。

意見を述べる

立場ではない

答弁（町長）：このことについては、私も理解に苦しむ問題であるが、全国十大水不足地域と称される松山市が選択されることであり、私が意見を述べる立場ではない。このことは、将来にわたって流域住民の脳裏に残っていくことになるのではないかと考えている。

平成九年度

一般会計予算について

町行政全般について



池田政治 議員

必要性を見極めた

予算執行を

質問：平成九年度一般会計予算について、最も重点を置いて配分

した部門は何か。
また、歳出総額の中の公債費の占める比率が、昨年より5%も増えているが、他の事業を圧迫しないか、さらに、これはいつ頃まで償還が増えるのか。



平成9年度予算案などが審議される町議会

次に、公債費の適正化を図るため、前年度末町債残高の内の町起債で高利率のものは、繰り上げ償還できないのか。

最後に、前年度に比べ旅費や食糧費はどれくらい減少したか。また、食糧費については、総務費の中で一括計上できないか。

【答弁(町長)】：一般会計予算では重点に組んだかという事については、施政方針で申し上げたとおりであり、保健センター新築事業や白滝大橋(仮称)整備事業、生活関連事業等を計上している。

また、公債費については年々増加しており、公債費比率は平成十一年度にピークに達する。今後、適正財政規模を保持し、建設事業の重点的な選択等により公債残高の累増しない財政体質に努めている。

きたいと考えている。

次に、起債の繰り上げ償還については、厳しい財政状況の現時点での繰り上げ償還は、財源確保の面から困難であると判断している。また、借り換えについても、政府資金は原則として認められず、市中金融機関についても打診はするが承諾を得られておらず、すぐに償還できるようにはならないと思われる。

旅費・食糧費については厳しい予算査定を行い、旅費については二・六％の減、食糧費については、二年ごとの納税組合長会経費を除くと七・九％の減となっている。食糧費の一括管理については、検討はするが、各々の行政目的によりその必要性を見極めながら予算執行すべきと考えているのでご理解いただきたい。

十分に協議し

スムーズな移行を

質問：現在県が進めている知事権限委譲については、職員のコンセンサスを得ながら、円滑な事務処理ができるよう体制を整えておく必要があると思われる。また、肱川改修に伴う用地買収や立退者に対する宅地の造成・あつせん、

区画整理等が生じた場合の対応として、担当部所を明確にして職員教育訓練をしておくべきと思うが、どう考えているのか。

さらに、町長は、町政全般の諸施策執行に当たり常に中立公平に取り扱うべきであると考えており、町政推進上重要な役割を占める外郭団体の構成人事についてもこのことを期待するが、町長はどう考えているのか。

【答弁(町長)】：県の権限委譲の受け入れ体制についてであるが、当町に該当するものは三十六項目である。その経費は委任事務交付金で財源措置が講じられており、事務量は僅かであるため、現体制で十分と考えており、今後、関係諸機関と十分な協議を行い、スムーズな移行を行いたいと考えている。

次に、肱川改修事業に伴う付帯事業については、非常に難しい問題であるが、事業推進上、色々な制度をどのように導入していくかが非常に大切である。関係職員に對して、それぞれの内容等について研究するよう指示しており、今後、さらに研鑽を積んでいきたいと考えている。

的によつて設立され、定款等によつて運営されており、人事もその組織内部で決定されるものであるのご理解いただきたい。

懸念事項を明らかに

していきたい

ダム建設・分水問題

【答弁(町長)】：ダム問題については、二回ばかり特別委員会の機能回復を要請してきたが、何時までも放つておける問題ではなく、

第一回定例会

国民健康保険への

繰出金など

八年度一般会計補正予算
八年度一般会計予算は一億六千三百三十七万九千円が減額補正され、予算総額は五十五億二千六百九十万三千円となりました。

なお、補正された主なものは、次のとおりです。

【民生費】社会福祉総務費として、国民健康保険特別会計の繰出金など四千五百八十二万六千円。

【商工費】商工振興費として、企業立地促進条例に基づく助成金の内一社が未操業であったことと、用地取得利子補給金等の利率の低

施政方針で申し上げたとおり、今年度早々には地下水調査を正式に実施していく考えである。

また、意見書については従前からお答えしているのとおりで、九年度のできるだけ早い時期に、町の考え方、懸念事項をいくつか整理したもの、国・県に対し明らかにしていきたいと思っております、これから各論に入っていく考えであります。

下により、四千五百九十三万一千円を減額補正。

【災害復旧費】現年度漁港施設災害復旧費として、台風二十号により被災した青島漁港災害分が過年度災害となったことにより、一億五千三百二十九万円を減額補正。

長浜町住宅管理

条例を制定

公営住宅法の改正に伴い、従前の条例を廃止し制定されたものです。

改正の主な内容は、第一種、第二種の種別区分が廃止され、一定額以下の収入であればどの住宅でも同じ入居基準となります。家賃については、各世帯の収入区分に

応じ、国の算定方法により毎年度家賃を決定することになります。なお、決定家賃が以前の家賃より高い場合は、三力年で負担調整が行われます。

この条例の施行日は本年四月一日ですが、経過措置により平成十年四月一日からの適用となります。

長浜町手数料条例

の一部を改正

恩給、年金受給者の現況届の証明手数料を免除し、費用負担の軽減を図るために改正されたものです。

母子家庭・乳幼児・

重度心身障害者の医療費

助成条例の一部改正

国民健康保険被保険者のうち、母子家庭医療、乳幼児医療、重心理療の助成を受けている方が、老人福祉施設、児童福祉施設、精神薄弱者更生援護施設等に入所するために転出する場合、転出先の市町村から医療費の助成を受けるのではなく、引き続き長浜町から医療費の助成を受けることになりました。

消費税率改正に伴い

各公共施設使用料等を変更

消費税率改正に伴い、長浜町体育館照明施設及び町立学校屋内運動場使用条例以下、関連九条例の一部が改正され、各公共施設使用料等が変更されました。

三役・教育長

給与を改正

「長浜町長、助役、収入役給与条例」「長浜町教育長給与条例」の一部が改正され、昨年の十二月から給与月額を次のとおり改正することになりました。

() 内は改正前の額。

- 【町三役】町長 〓 八十万円 (七十七万五千円) ▼ 助役 〓 六十四万七千円 (六十三万三千円) ▼ 収入役 〓 五十九万九千円 (五十八万六千円)
- 【教育長】五十七万三千円 (五十五万三千円)

特別職・教育委員

農業委員の報酬も改正

長浜町特別職職員、同教育委員会委員、同農業委員会委員の「報酬及び費用弁償条例」の一部をそれぞれ改正して、今年の四月一日

から報酬を次のとおり改めることになりました。

() 内は改正前の額。

- 【監査委員報酬年額】議員から選任された委員 〓 二十二万八千円 (二十二万五千円) ▼ 知識経験委員 〓 二十七万五千五百円 (二十七万二千円)
- 【選挙管理委員会委員報酬年額】委員長 〓 五万六千七百円 (五万六千円) ▼ 委員 〓 四万九千七百円 (四万九千円)
- 【教育委員会委員報酬年額】委員長 〓 二十九万三千六百円 (二十九万) ▼ 委員 〓 二十六万二千二百円 (二十五万七千円)
- 【農業委員会委員報酬年額】会長 〓 二十二万九千円 (二十二万六千円) ▼ 会長代理 〓 二十万九千六百円 (二十万七千円) ▼ 委員 〓 十九万二千五百円 (十九万円)

監査委員に

三好敏哉氏を再任

監査委員の三好敏哉氏は、平成九年五月十七日をもって任期満了となるので、後任に三好敏哉氏を再選任、議会の同意を求めた結果、満場一致の同意を得て、監査委員に決まりました。

固定資産

評価審査委員に

上川萬敏氏を再任

長浜町固定資産評価審査委員会委員の上川萬敏氏は、平成九年三月三十一日をもって任期満了となるため、後任に上川萬敏氏を再選任、議会の同意を求めた結果、全会一致の同意を得て、長浜町固定資産評価審査委員に決まりました。

町職員人事異動

四月一日付け

() 内は旧任

- 【県派遣】坂本直哉 (総務課)
- 【総務課】東和彦 (税務課) 小川恭二 (税務課) 【長浜保育所】白石玉子 (喜多灘保育所) 加納美紀 (大和保育所) 岡崎美智子 (白滝保育所) 【白滝保育所】宮岡民子 (沖浦保育所) 岸本眞粧美 (大和保育所) 【沖浦保育所】菊地さと子 (白滝保育所) 【出海保育所】矢野元朝子 (大和保育所) 【大和保育所】三好五月 (白滝保育所) 横山典子 (長浜保育所) 児玉智代 (長浜保育所) 【喜多灘保育所】佐竹千恵子 (出海保育所)

退職

〓 お世話になりました

大和保育所事務専門員兼所長・大成節子 ▼ 豊茂保育所主任調理員・都田悦子

さわやか行政サービス推進月間

政府では、国民の立場に立った親切な行政、真心のこもった行政を実現するため、「さわやか行政サービス運動」を実施しています。これは、国の行政機関、特殊法人他、地方公共団体の行政サービス、窓口や皆さんの声聞きながら

点検し、改善を進めるものです。この運動を推進するため、毎年5月を「さわやか行政サービス推進月間」と定めています。



一般会計予算

50億3,640万円



総務費

一般管理・文書・
広報・有線放送電
話・財産管理・企
画・事務連絡・生
活行政推
進・徴税・
戸籍住民
登録・選
挙などに
使うお金
のこと

5億5,995万4千円 (3.7%減)

中区(柴)集会所
整備事業費など

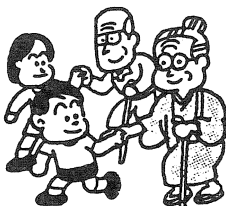
一般管理費は、行政事務を行う

ための経費など二億九千九百六十
一万四千円を計上していますが、
行政サービスに努めながら、経費
の節約強化を図っていきます。
有線放送施設費は、施設の維持
管理費等に二千七百八十七万三千
円。
財産管理費では、庁舎などの管
理及び各基金の積立金等一千四百
七十一万円。
企画費では、総合的な調査委託
料二百万円及び町内三路線の過疎
バス補助金六百五十万円。
生活行政推進費では、中区(柴)
集会所整備事業費等を合わせて九
百八十七万七千円。

民生費

老人福祉・児童
福祉・身体障害者
福祉・母子福祉・
国民年金・災害救
助などに使うお金
のこと

10億8,418万7千円 (5.5%増)



全般的な特徴

新しい事業や特に力を
注ぐ事業で、前年度当初
予算に比べて大きく変化
の生じたものなど、その
特徴をまとめてみました。
文中の％は、前年度当
初予算との比較です。一
般会計の目的別費目別総
額の()内の％は、同
予算に占める同費目の割合です。
一般行政経費は、昨年度同様特
別なものを除き抑制していますが、
「町づくり・里づくり・心づくり」
など、住民生活のあらゆる分野に
直結した事業や産業振興対策につ
いては、可能な限り当初予算に計
上しています。
一般会計の予算総額は、前年度
比五・七％の増となっており、性
質別では、建設事業が同総額の
一八・一％を占め、経常経費は前年
度比一・九％減となっています。

予算の使いみち今年度の特徴

一般経常経費を抑制した 堅実型予算に

平成9年度当初予算

平成9年度の当初予算が、次の通り決まりました。(％は前年度当初予算との比較)

【一般会計】	50億3,640万円 (5.7%増)
【国民健康保険特別会計】	10億4,045万2千円 (5.0%増)
【国民健康保険直営診療所特別会計】	1,454万円 (6.6%減)
【港湾施設事業特別会計】	1,708万1千円 (4.3%増)
【簡易水道事業特別会計】	5,762万円 (0.7%減)
【住宅新築資金等貸付事業特別会計】	1,687万1千円 (9.0%減)
【老人保健特別会計】	17億3,805万6千円 (11.9%増)
【水道事業会計】	
収益的収支予定額	2億4,080万7千円
資本的収入予定額	0円
資本的支出予定額	6,525万6千円
【工業用水道事業会計】	
収益的収支予定額	2,785万6千円
資本的収入予定額	0円
資本的支出予定額	773万3千円

町づくり対策費では、町づくり
委員会補助金三百万円。里づくり
補助金二百万円。龍馬クルージン
グin瀬戸内イベント二百九十万五
千円。長浜大橋イルミネーション
設置費等百万円。
電算管理費では、電算機器リ
ス及び保守料等三千九百三十万一
千円。
徴税費では、町税賦課徴収費等
七千九百六十一万円。
戸籍住民登録費では、二千二百
八十八万五千円を計上しています。

社会福祉の

向上と充実

社会福祉の充実を図るため、社会福祉協議会に補助金として一千六十九万七千円。

重度心身障害者医療扶助費に二千七百万円。母子家庭及び乳幼児医療扶助費に一千五百三十万。老人保健特別会計への繰出金一億一千五百七十八万八千円。このほか、国保特別会計への繰出金に五千九万五千円。

老人福祉については、在宅福祉充実のためホームヘルパー九名の設置委託料として三千五百五十四万三千円を計上。また、寝たきり老人等介護手当を、月七千円を月七千五百円に改正して、三百六十万円を計上。

老人ホーム入所者に対し施設に支弁する老人保護措置費委託料として七千六百六十五万一千円。老人クラブ育成費として百二十六万九千円。

特別養護老人ホーム事務組合負担金として五百六十九万九千円を計上し、老人保健福祉計画に基づき、きめの細かいサービスを図ることにしています。

児童福祉については、児童手当

一千二百八十一万。保育所費として二億九千七百二十七万七千円。

長浜乳児保育所への措置費委託料六千五百九十九万一千円。

身体障害者福祉として、身体障害者更正援護施設への入所措置委託料一千六百四十四万四千円。さらに、身体障害者手帳一級・療育手帳A該当者にタクシー利用補助金、身体障害者に対する短期入所

事業委託料を計上しています。

地方改善対策費は、地区の環境改善及び福祉の向上を図るため、施設改修他、長浜支部補助金など合わせて二千二百九十八万二千円。

隣保館費は、隣保館活動運営費として三千二十万七千円。

国民年金事務費は、徴収手数料など合わせて一千七百五十五万一千円を計上しています。

室、健康フェスティバルなどに七千六百七十七万七千円。

母子保健対策費としては、心身障害児相談事業の親子教室、乳幼児健診、母子保健推進活動、子どもにやさしい街づくり事業などに三百五十万二千円を計上し、保健指導の充実を図ることにしています。

出海、櫛生、豊茂診療所運営費等に八千七百七十五万六千円。

保健センター建設費に三億二千二百七十一万四千円。

環境衛生費は、昨年に引き続き河川海域の水質汚濁防止を目的とする合併処理浄化槽設置費補助や、公共墓地の維持管理に要する費用合わせて六百十七万九千円。

塵芥処理費は、大洲市・長浜町環境センター負担金八千二百六十九万五千円のほか、ごみ収集や不燃物の処理に要する費用二千七百

八十五万二千円の他、資源ごみ回収活動奨励金、生ごみ処理容器設置の補助金四十万円等合わせて一億二千四百八十二万二千円。

し尿処理費は、大洲喜多衛生事務組合負担金一千九百四十七万五

千円。

このほか、国民健康保険直営診療所特別会計、水道事業会計、簡易水道事業特別会計への繰出金、補助金等に一億六百二十五万八千円を計上しています。

農業・林業・漁業関係などに使うお金

農林水産業費



2億6,633万2千円 (51.6%減)

農用地有効利用推進 漁港の維持管理など

農業委員会費は、農業者の地位向上と農用地の有効利用推進のための委員会活動費及び、農地調整等の経費一千二百二十五万三千円。

農業振興は、農地の流動化を推進するための農業構造再編対策事業、新生産調整対策事業、みかん

等果樹園転換特別対策事業のほか、認定農業者が、経営改善計画を達成するために行う経営規模拡大、

経営複合化、小規模基盤整備などの事業を支援するための、認定農業者支援対策事業補助金、各種協議会負担金等六百七十九万九千円。

林業振興費は、しいたけの産業振興を図るため、しいたけ産業振興対策事業を実施するとともに、有害鳥獣駆除事業、緑の少年団育成事業等に対する補助金等四百四十一万二千円。

基盤整備事業は、県補助事業を導入し林道整備を行うもので、叶松足山線の開設事業費など二千二百七十二万二千円。

水産振興費は、漁業の振興を図るための漁業施設の維持管理に要する事業費等三百六十六万。

漁港関係は、櫛生漁港環境整備事業と櫛生漁港沖防波堤工事・出海漁港深浚工事など、各漁港の維持管理費を合わせて八千四十六万九千円を計上しています。

このほか、国土調査費は、一筆毎の所有者、面積、地目等地籍の明確化を図るための地籍調査事業

衛生費



7億7,371万6千円 (70.6%増)

保健衛生全般・環境保護・ごみ処理などに使うお金

健康相談・

検診事業の充実

環境保護意識の向上

保健衛生費は、成人病対策費として、成人病検診、がん検診等の委託料一千六百四十二万五千円。

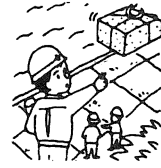
健康相談、訪問指導、健康教室、機能回復訓練のためのリハビリ教

予算の使いみち

費四千九百三十八万三千円を計上
しています。

土木費

道路・港湾・下
水道・防災・住宅
管理・交通安全施
設などに使うお金
のこと



5億1,407万5千円 (40.7%増)

町道白滝柴線

橋梁整備工事など

国や県の補助などを活用して道
路整備を行うもので、この内町道
白滝柴線橋梁整備工事は国庫補助
事業で、また、町道石堂〜豆柳線
など二路線を県補助事業で実施し
ます。

また、町道及び河川、下水道等
の維持補修に要する費用、並びに
ガードレール、標識、カーブミラー
等の交通安全施設の設置費を計上
しています。



災害復旧費

災害を受けたか所を
復旧するために使う
お金のこと



1億5,441万2千円

昨年被災した漁港施設災害復旧
事業の経費などを計上しています。

教育費

学校教育・社会教
育の全般に使うお金
で公民館・図書館・
ふれあい会館・保健
体育などの費用も含
まれます



3億4,631万5千円 (7.1%増)

大和小学校プール

循環ろ過装置改修など

主な事業として大和小学校プー
ル循環ろ過装置改修を始め、学校
社会教育施設の整備充実及び文化
事業、生涯学習、スポーツ振興、
青少年の健全育成、同和教育、青
年海外派遣研修、国際交流事業に
対する経費などを計上しています。

商工費

商業・工業・観
光関係などに使う
お金のこと



3,782万3千円 (75.4%減)

商店街の

活性化対策など

商工業の振興費として、商工会
が行う事業に対する補助金、中小
企業振興資金の預託金、外灯の修
繕費等に三千二十八万九千円。

消防費

防火防災のために
使うお金のこと

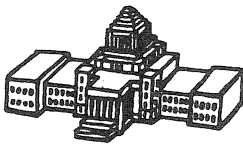


9,911万2千円 (39.8%減)

大洲地区広域消防事務組合負担
金などを計上しています。

議会費

町議会運営のため
に使うお金のこと



8,068万7千円 (5.5%増)

労働費

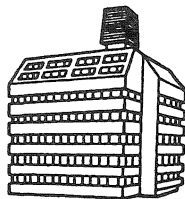


勤労者の
の福祉の
増進のた
めに使う
お金のこ
と
225万5千円 (0.2%減)

勤労者体育センター費として、
管理運営に要する経費を計上して
います。

公債費

事業のために借り
入れたお金の返済金
のこと



11億453万1千円 (5.0%増)

予備費



1,300万円 (13.3%減)

国民健康保険 直営診療所(青島) 1,454万円



国民健康保険 10億4,045万2千円

被保険者数が前年度より一・八%減の四千五百八十一人となる見込であるが、予算総額は、五・〇%の増となっています。

付添看護・介護に係る給付及び、入院時の食事療養費の給付等の改正により医療費は上昇し、一般療養給付費は前年度より九・〇%の増、退職被保険者分の保険給付費は、六・五%の増となっており、国保財政は厳しい状況となっています。国保財政の健全な運営を図るため、一層国保制度を理解していただくとともに、健康相談、食生活改善指導等の保健事業を推進していくことにしています。

特別会計



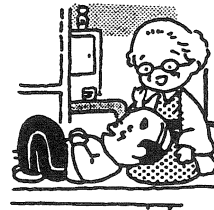
港湾施設事業 1,708万1千円



予算総額は十七億三千八百五万六千円で前年度より十一・九%の増となっています。医療給付費は、対象者が増加すること、老人保健施設療養費及び食事療養費が増加すること等により、十二・一%の大幅な伸びとなっています。

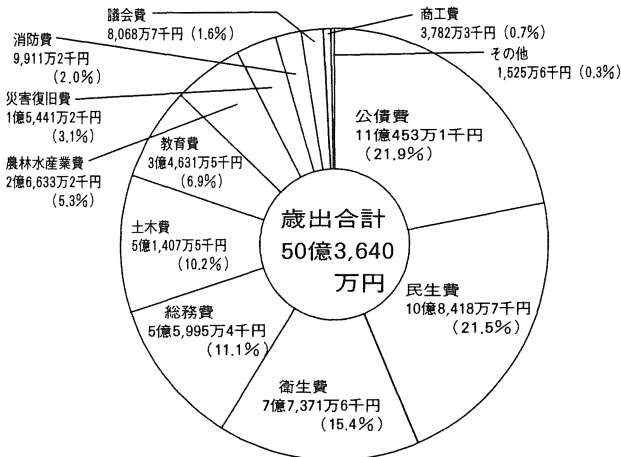
老人保健医療受給者は、前年度より三・〇%増の二千五百人となる見込で、今後の高齢化社会に対応していくために、医療受給者健康指導等の充実に努めることにしています。

老人保健 17億3,805万6千円

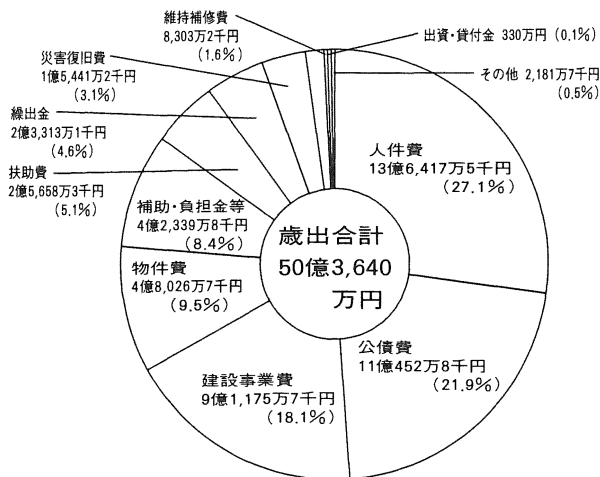


離島であることや人口減少により、受診者も限られていることから、診療収入の増収は望めず、国・県からの運営補助金と一般会計からの繰入により運営しています。

▼ 目的別の歳出は…



▼ 性質別の歳出は…



住宅新築貸付事業 1,687万1千円



償還金及び貸付金返済事務費などとなっています。

港湾施設管理のため、一千七百八万一千円を計上しています。

水道事業 (頭書の通り)



工業用水は、一日使用水量が三千三百立方mの契約水量で、現在三社に用水を供給しています。

企業会計

工業用水事業 (頭書の通り)



簡易水道事業 5,762万円



今年度も徹底した漏水調査を実施し、有収率の向上に努めると共に動力費等諸経費の節減を行いながら、経営の安定を図ります。

簡易水道は、十一施設で地元管理を行っています。

シリーズ「ごみ問題を考えよう！」

② 「分別収集計画」

分別収集計画とは聞き慣れない言葉ですが、平成九年度から全国の自治体でこの計画が策定されました。これは、本年度から施行された「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」（一般的には、容器包装リサイクル法と言われています）に基づき、市町村で作成することを義務付けられたためであり、この法律が制定された背景には、地球的規模での資源保護と環境保全の問題があります。



現在手作業に頼っている中間処理（びんや缶の分別）

現在、リサイクルの障害となっているのは、排出から再利用までに技術的・経済的・社会的障害が複雑に絡み合っており、最終処分費用よりもリサイクル費用が高い、リサイクルされた材料がバージン材料よりも高くつくことなどと言われています。このため、消費者、市町村、飲料メーカーや容器包装メーカーなどの特定事業者が、各々の立場で廃棄物の減量とリサイクルに取り組みむことを目標にして制定されました。

長浜町でも、このような中「循環型社会」の必要性を十分に認識した上で、最終処分場への埋め立て処分量を削減し、地球環境保全に少しでも役立てるため、町民、行政、事業者の役割を明確にして、関係者が一体となって進むべき方向を示すものとして、「長浜町分別収集計画」を策定しました。

この計画は五カ年計画で、本年

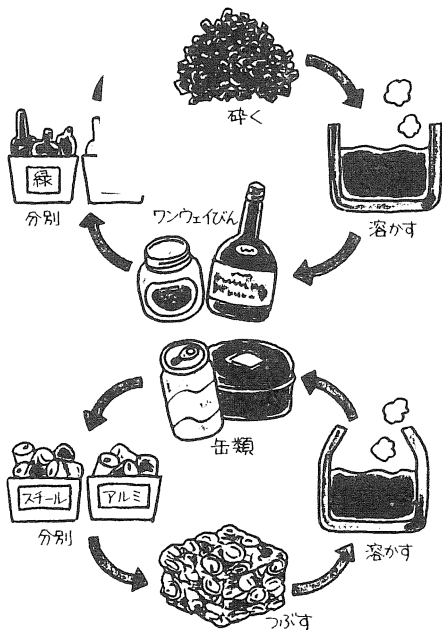
度四月を始期とし、三年ごとに見直すことになっていきます。町内から一年間に排出されるごみの内、概ね九百トンが容器包装廃棄物であると予想され、初年度はその約一〇%を再資源化する計画になっています。当初の対象品目は「アルミ缶」「スチール缶」ですが、さらに段階的に対象品目と資源化量を増加して、「無色ガラス」「茶色ガラス」「その他ガラス」「ペットボトル」までを対象とし、五カ年で資源化量を容器包装廃棄物の約二〇%まで高める予定です。

このためには、現在手作業に頼っている中間処理を効率化するための、新規施設整備も不可欠となりますが、より合理化するためには、収集段階までの分別を行わなくてはなりません。また、資

源化率を高めるためには、排出されるごみの品質も重要になります。缶やびんの中身が残ったままになっていたり、材質の異なるキャップなどがついたままでは資源化が困難です。

町では、廃棄物減量等推進審議会（仮称）を設け、廃棄物の減量や分別収集の実施に関する問題を協議し、できることから速やかに実施していくことにしていますが、住民の皆さんのご協力なくして、分別収集や再資源化を進めることはできません。

ごみ処理経費の削減と資源化の促進は、どうしても避けることのできない問題です。一人ひとりがそのためにできることは何かを、今一度考えてみましょう。



あなたの声が 道づくりに

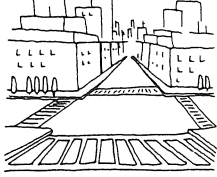
活かされます

建設省の諮問機関である道路審議会では、「二十一世紀の生活と道を考える委員会」を設け、皆さんからの意見を取り入れるという考えのもと、新しい道路計画を作るための検討を進めており、この度、今後の道路政策の目指すべき方向や渋滞緩和・暮らしと道との関わり、交通安全の確保などの重要なテーマについての基本的な考え方を示した「中間とりまとめ」を作成しました。

この「中間とりまとめ」を通じて、これまでの道路政策を見直し、改めて皆さんの自由なご意見・ご提案をお寄せいただきたいと思えますので、是非ご応募下さい。

なお、「中間とりまとめ」等についてのお問い合わせ及び、送付方法は次のとおりです。

【お問い合わせ】愛媛県土木部道路建設課（☎〇八九一九四一―二二



一) または、建設省大洲工事務所調査第二課（☎二四一五一―八五) まで。

【提案送付先及び送付方法】〒一〇五東京都港区虎ノ門二一八―一〇第十五森ビル：二十一世紀の生活とみちを考える委員会事務局（FAX〇二〇一六二―六六一一、http:www.road21.jice.or.jp)

放送大学「ビデオ公開講座」のご案内

～国立大洲青年の家～

テレビ・ラジオ等を効果的に活用して、大学教育の機会を多くの人に提供している放送大学。そこで使用されているビデオテープを活用し、レベルの高い学習機会を提供する「ビデオ公開講座」を開催します。

皆さん、このチャンスには是非受講されてはいかがでしょう。

【実施期間】五月十一日～七月二十七日の間の毎日曜日

【会場】国立大洲青年の家

【対象・定員】どなたでも受講できます。各科目四十人まで。

【科目】世界の社会福祉、人間行動学（二科目からでも受講可）

【受講料】一科目につき二千元（別途テキスト代必要）

【申込期間・方法】随時受け付けています。電話またははがき・FAXで申し込み資料を請求。

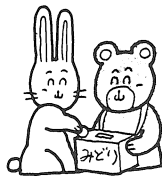
【お問い合わせ】国立大洲青年の家（大洲市北只一〇八六、☎二四一五二七五、FAX二四一―二九〇九) まで。

緑の募金にご協力を！

役場・銀行窓口

募金箱設置

四月十四日～五月三十一日



心に安らぎを与え、また、あらゆる生物の生存に不可欠な水の供給源として、人間の健康で文化的な生活に欠くことのできない貴重な財産である森林を守る活動を支援する「緑の募金」が始まりました。

長浜町森林と緑の募金推進協議会では、役場窓口、企業、学校等で募金活動を行うこととしておりますので、皆さん、是非ご協力下さい。

【お問い合わせ】役場経済課内、長浜町森林と緑の募金推進協議会事務局（☎五二一―一一) まで。

このまえ、かいだんつぶしの大じけんがおこりました。一年生のAくんが、一・二年生のなんなかがいっしょうけんめいつくっていた土の山のかいだんをふみつぶして、こわしてしまつたのです。そして、めつたにかなない二年生のリーダーのBくんがなきました。

「Aくんは、どうしてつぶしてしまつたのでしょうか。」
「うか。」
と、おつしやいました。みんな、じいっとかながえました。



人権作文

「やさしいことば」

小学1年生
(8年度人権作文集より)

「やさしいことばをきいたとき、」
「Aくんは、いっしょにあそびたかつたんだ。」
と、やっとわかりました。だから、やめてというより、いっしょにつくろつという

「やめて。こわさないで。」
と、ちゆういしたそうです。でも、せんせいはいは、

「やめて、というより、もつといいことばは、なかつたのでしょ

「あいてのきもちをかんがえてからいつてあげることでわかりました。わたしも、ちゆういするまえに、もつとやさしいことばはないか、かんがえようとおもいます。」



ふれあい会館だより

世界の絵本展

ふれあい会館では、日本の絵本、外国の絵本、日本の昔話絵本、ためになる知識の絵本など、主に幼児・小学生を対象とした絵本、約二百点を展示し、次の日程で「世界の絵本展」を開催します。

（近所お誘い合わせ、是非ご来場下さい。）

【期日】五月十六日～二十二日（午前九時～午後五時）

固定資産税(土地)の標準宅地に係る路線価格等の公開

平成九年度評価替えに伴う固定資産税評価額の積算基礎となる1㎡当たりの価格を、町内の代表的な八十三地点を対象に次のとおり公開します。

【公開の期間】平成九年五月十二日～五月三十日（但し土曜日、日曜日は除く）

【公開の時間】午前八時三十分から午後五時まで

【公開の場所】役場税務課及び各連絡所

「公開対象地目」宅地

【公開の対象範囲】基準地を含む全標準地の単位当たりの価格
なお、詳しくは、税務課固定資産税係（☎五二一一一一）までお問い合わせください。

◎児童手当を 受けている方へ 六月中に現況届の提出を

児童手当（特例給付を含む）を受けている方は、毎年六月中に「児童手当現況届」を提出しなければなりません。

この届は、毎年六月一日における現況を記載していただき、児童手当を引き続き受ける要件に該当するかどうかを確認する大切な届です。この届の提出がないと、六月分以降の手当を支給することができない場合がありますので必ず提出して下さい。

【届出期間】六月一日～六月三十日

【届出場所】役場福祉課又は各連絡所

※ 現況届の用紙は、役場受付及び各連絡所にあります。

【お問い合わせ】役場福祉課（☎五二一一一一・有（二〇七））まで。

Culture Corner

絵合わせ

1 A、B、Cの絵は左側のどの絵と合うでしょうか。一つ合わない絵があります。

2

3

4

A

B

C

※ A-2、B-1、C-4

鉄砲刀剣類の登録

次のとおり、銃砲刀剣類の鑑定登録が行われますので、速やかに発見者（所有者）自身が銃砲刀剣類を持参し、登録手続をして下さい。

【日時】毎月第三水曜日（祝日の場合は翌日）：刀剣類：午後一時～午後四時、銃砲：午後三時～午後四時

【場所】愛媛県生活文化センター（松山市北持田町二二九一二）

【持参品】①刀剣類②発見届出済証③当該銃砲刀剣類④手数料一件につき五千九百円⑤印鑑⑥身分証明書（運転免許等本人であることが分かるもの）

平成九年度愛媛県 交通事故相談所を開設

①大洲市大洲六九〇一、大洲市役所三階会議室（☎二四二二一一）

開設日：毎月八日と二十日

②八幡浜市松柏一〇一、八幡浜地方局二階町村会議室（☎〇八九四二二二四一一）
開設日：毎月二十五日
【受付時間】いずれも午前十時～午後三時

【注意】銃砲刀剣類は、発見時の状況のままで持参のこと。
【お問い合わせ】愛媛県教育委員会文化財保護課（☎〇八九一九三四一三二二九）まで。

新刊情報

～長浜町立図書館～

書名	著者
お母さんのあいさつと文書	新星出版社編集部編
たのむよ和代氏、もう一度しゃべって	藤子不二雄A
お母さん、ごめん	佐々木賢太郎
小粋な失恋	内館 牧子
失楽園（上・下）	渡 辺 淳一

「福祉コーナー」

緊急電話の設置

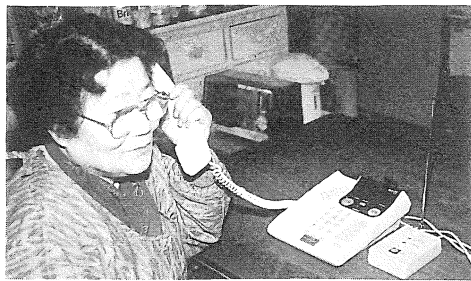
② 《広がりませす赤十字活動》

① 《一人暮らしの

老人宅に緊急電話

の設置》

町では、一人暮らしのお年寄りの急病や事故に素早く対応するため、緊急通報用電話器を設置し、二十四時間体制で通報を管理しています。



24時間体制の緊急通報用電話器

このシステムは、一人暮らしのお年寄り宅に電話器とペンダント型発信機を備え、緊急事態が発生したとき、電話器かペンダントのボタンを押すと、「四国安全セン

ター」に自動的に通報されます。

「四国安全センター」は、必要に応じて救急車の出動を要請したり、あらかじめ登録してある近隣者に連絡して安否を確認することになっています。

○設置できる方

六十五歳以上の一人暮らしの方で、発作性の持病等のある方。ただし、必要性の高い方から優先して貸付けることにしています。

○貸付け料

無償

なお、詳しくは、長浜町役場福祉課（☎五二一一一・（有）二〇七二）へお気軽にご相談下さい。

② 《広がりませす

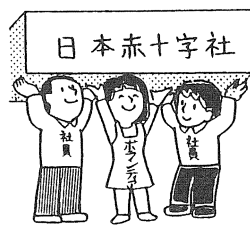
赤十字活動》

…五月は赤十字運動月間です…

赤十字社員増強運動が県下一斉に行われます。当町も募金や新規社員の募集にとり組みます。皆さんの温かいご支援をお願い致します。

① 《一人暮らしの老人宅に

緊急電話の設置



す。

☆ 赤十字社の活動は、世界各国の赤十字社と手をつなぎ、人々の幸福と世界平和のために行なわれています。

* 災害救護活動

災害がおきた時に必要な、毛布・日用品等の救援物資が提供されています。

* 国際救援活動

紛争や自然災害で苦しむ世界の人々の救援が行なわれています。

* 青少年赤十字活動・奉仕団活動・救急法や家庭看護法の講習会等も行なわれています。

○ このような赤十字の活動は、皆様から寄せられた浄財により進められています。ご理解とご協力を頂きますように…。

ときを越えて…

赤橋の素顔がカードに

テレホンカード作成

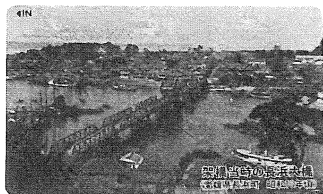
長浜町では、現役で動く道路可動橋として日本最古を誇る「長浜大橋」を題材としたテレホンカードを四種類作成しました。

晴らしい写真をもとに作成しています。

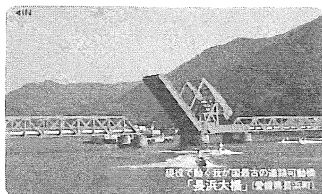
このテレホンは、一枚七五〇円とお手頃になっていますので、皆さん、この機会に是非お買い求め下さい。

なお、詳細は、役場まちづくり対策室（☎五二一一一）までお問い合わせ下さい。

このテレホンカードは、架橋當時を彷彿させるものや、世界に比類のない神秘的な肱川あらしをはじめ、幻想的な光景を醸し出す花火など、四季折々の素



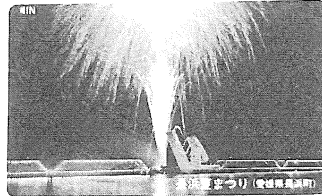
架橋当時の長浜大橋



長浜大橋



肱川あらし



長浜夏まつり

平成9年度新採職員紹介

よろしくお願ひします！

税務課 国土調査係

浜上 幸治（仁久）



四月より長浜町職員の一員となりました。仁久出身の浜上幸治です。地元長浜町で行政の仕事をするのは、学生時代からの夢でしたので、念願の職場にはいることができ、喜びと共に職員としての自覚が湧いて来ているところです。この感激をいつまでも心に刻み続け、仕事に邁進していきたくて決意しています。

高い知性と品性に加え、広い視点に立った社会人、また、町の発展に貢献しうる職員となるよう努力し、先輩や町民の皆様のご指導を受けながら一日も早く仕事を覚え、長浜町発展のために微力を尽くして頑張りたいと思っています。特技という程でもありませんが、私は、学生の頃から大好きなサッカー



カーを続けています。仕事後、週二回、長浜中学校のグラウンドをお借りして練習に励み、将来はリーグでプレイできるような頑張っているところです。このサッカーで培った体力や精神力を仕事に活かしていきたいと考えています。

これからも、初心を忘れることなく日々精進していきますので、皆さんどうぞよろしくお願ひいたします。

税務課 固定資産税係

上田 秀和（長浜）



はじめまして。このたび役場に入りました上田秀和です。

私は、町職員として次のことを心がけたいと考えています。それは、町民全体の奉仕者であって、一部の人たちの奉仕者ではないということです。町民の負託を受けて、公金で仕事をするのですから、一部の人や団体に対してだけ有利な取り計らいをすることは許されません。すべての人に対して公平でなければならず、そういう自覚

の下で仕事をしていくと共に、常に広い視野に立って物事を見たいと思っています。

また、現在は税務課での仕事をしていきますが、今後どの課に移っても自分に与えられた仕事をきちんとこなし、住民から信頼される公務員、行政のエキスパートと呼ばれるようになりたいと思っています。

しかし、今のところは、自分の仕事を覚えるのに精一杯です。そのためか、趣味の将棋に費やす時間があまりとれず、少し寂しい感じがします。そこで、現在、将棋サークル作りを検討しているのですが、皆さんいかがでしょうか。

経済課 水産振興係

山下 由香理（豊茂）



はじめまして。今年度から、経済課水産振興係に配属となりまし

た山下由香理です。

私は、長浜で生まれ育ちました。脇川あらしや白滝の紅葉など、長浜の自然が大好きで、これからはずっと長浜で生活をしていきたいと思っています。

ですが、このふるさと長浜についても、私の知らないことがまだまだたくさんあります。学生時代にも、もつと長浜のいろいろなことを知りたいと思ったことがありました。それで、今まで学んだこと、経験してきたことを活かして、長浜の発展に微力ながらも貢献できればと思ひ、役場への就職を希望し受験しました。

しかし現実には、社会に第一歩を踏み出したばかりで、反対に足手まといになり、至らないところばかりだらうと思います。今の気持ちを忘れず、一日も早く充実した仕事ができるよう一生懸命頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



紹介コーナー

LETSクッキング

代表者
池本真喜子
☎五三〇二七

生活改善.. はまなすグループ

野菜入りにぎり天

(約二十個分)



さにして油で中火で揚げる。
ワンポイント: 魚はよく水で洗うこと。油抜き効果が上がります。

- 【材料】
- 魚のすり身 九〇〇g
 - 塩 一〇g
 - 砂糖 一六g
 - 薄口醤油 一〇cc
 - 卵 一/二個
 - 調味料 少々
- ※1 好みに応じ適量
- ※2 人参 玉葱 玉ねぎ 好みに応じ適量
ごぼう 〃

【作り方】

- ①魚(アジ、タチウオ、エソ、スゴチ、ハモ...など)をよく洗ってミンチにする。
- ②※1をよく混ぜ合わせて、粘りが出るまでこねる。
- ③※2を千切りにする。
- ④②と③を合わせて、適当な大き

新種発見!

平面上のたまごっち

長浜高等学校美術部 m&m



はまなすグループの皆さん

頑張っています!

長浜手芸会

(手芸)

私たちは、昭和五十七年八月、町文化協会の設立と共に本格的に活動を始めて以来約十五年間、お雛様や鯉幟などの季節に合わせた壁飾りや袋物、花など数多くの手芸作品を作り続けて来ました。現在は、毎月一回ふれあい会館に仲間が集まり活動しています。

作品がいい出来映えに仕上がった時やたまに失敗した時など、みんなで見せ合い笑ったり悔しがったりと、和気藹々の雰囲気です。楽しんでいきます。

できあがった作品は、町の文化祭や郵便局のロビーへ展示したり、八幡浜管内で開催される高齢者趣味の作品展へ出品するなど、意欲的に作品製作に取り組んでいます。手芸に興味のある方、月に一度私たちと一緒に楽しい手芸のひとときを過ごして見ませんか。遠慮なくご連絡下さい。

- 【練習日】毎月第二金曜日(午前九時~午後五時)
- 【練習場所】ふれあい会館和室
- 【連絡先】井内キヨカ(☎五二一三三五)または、久保幸代(☎五二一〇四六九)まで
- 【会員】保積マサコ、井内キヨカ、



長浜手芸会の皆さんによる作品の一部

岡道静子、岩城千代子、竹内政子、中川ミヨ子、堀井志壽子、山本モエ、二宮美津子、土居ミキ子、小西イセ子、込岡輝子、大石さよ子、亀田鈴子、中川美津子、叶岡美鈴、大西季子、高木文子、大橋孝子、木田勢伊子、中田安津美、東浦愛子、西岡ヤエコ、久保幸代

プロの技術を学ぼう

〈小中学生サッカー教室〉

三月八日、長浜中学校グラウンドで、プロの指導者を招いての少年サッカー教室が開催され、町内の小中学生ら約八十人が参加した。

これは、長浜町づくり委員会イベント部会が、子どもたちにプロのサッカー技術を学んでもらおうと開催したもので、参加した未だのJリーガーたちは、和泉茂徳氏(愛媛フットボールクラブ)ら四人のスタッフによるハイレベルの技術に目を輝かせていた。

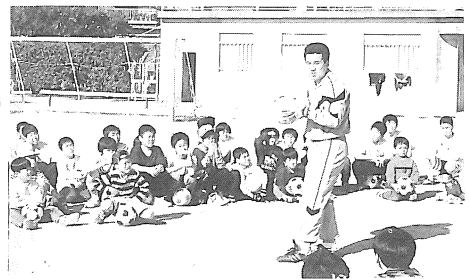
校訓碑ができました

〈豊茂小学校校訓碑除幕式〉



関係者らにより除幕される校訓碑

三月二十六日、豊茂小学校グラウンドで、関係者ら約五十人が出



熱心に指導に聞き入る子どもたち



席し校訓碑の除幕式が行われた。

「強く 正しく 明るく」と刻まれたこの碑は、地元出身の楠原キクさん(松山市在住、九二)の母校への寄付金を基に、PTA会員の皆さんの協力により建てられたもの。式では、児童代表から楠原さんのご親族へ花束が贈られた後、「この碑のことを忘れず、これからも大切にしていきたい」とお礼の言葉が述べられた。

ごみを捨てないで!

〈櫛生港高松地区児童会活動〉

三月二十七日、櫛生小学校高松地区児童会の皆さんにより、櫛生漁港内へのゴミ捨て禁止を呼びかける看板二枚が設置された。

晴天に恵まれた当日、児童らは、まず早朝から周辺のごみを拾い集め、その後、手づくりの看板を漁港内二カ所に取り付けた。



手づくりの看板を設置する子どもたち

それぞれの看板には、自分たちで考案の「ゴミすてず 自分も楽しみ 人も楽しむ」と「ゴミすて

る あなたの心も ゴミだらけ?」の標語が掲げられている。

もぐっと視野を広げよう

〈ながはまふれあい広場〉

四月六日、ふれあい会館で、ま

広場が開催され、子どもからお年寄りまで約八十人が参加した。

視野を広げ国際的活動につなげ

ようと、国際町づくり実行委員会が主催したこの広場は、スリランカカレーの手づかみでの試食や、外国語指導手エイドリアンさんによる手品ショー、嵐太鼓への体験入門など、参加者にとっては初めてのことばかりで、心ふれあうすてきな体験の一日となった。

長浜文芸

― 白滝俳句会 ―

紫の色にはじまるヒアシンス

― 一宮菊枝

啓蟄やあてなく出でて書肆に入る 岩本 勝義

雨しとどめげずに花の六七分 上田 スミ

有り明けの月ほんのりと穂麦風 上田 孝子

万歩計花に誘はれ遠廻り 久保 禮子

春日のなか大工餉あとの昼将棋 清水 禎子

留守番も老の気楽さ花菜飯 都築 一子

菜の花忌伊予の歴史の輝きて 平井 松子

練乳をあふる程に春毎 森 悦子

白滝小学校

ちようたちがみんななかよしおに

ごっこ 四年 西村 友希

たんぼぼが春風さんとあそんでる 四年 上崎 寛恵

春が来た虫たち集まりパレードだ 四年 渡邊 正太

花たちがにこにこえがおでお出む

かえ 五年 和佐田 寛代

せなかり大きく見えるランドセル 五年 大西 裕子

春の風虫や小鳥の声ほこぶ 五年 藤田 憂也

ふきのとう銀の雪から芽を出した 六年 瀧川 哲志

一歳ですコソニチハ 165

斎藤祐太郎ちゃん (櫛生)

達と仲良く、元気に遊び、思いやりのある人になるよう願っています。



平成8年5月30日生まれ

(父 天祐さん・母 清子さん)

亡き祖父(加太郎)と、父(天祐)の名前に肖り、双方より引用し祐太郎と名付けました。それぞれの長所を受け継ぎ、立派に逞しく育って欲しいと思います。

昭和三十年から今日まで四十年余りの永きにわたり、長浜駅周辺の清掃や花壇の整備等の奉仕活動を続けられ、交通道德の高揚と環境美化の推進に寄与された功績により、このほど長浜の明関定市さ

明関定市さん 交通道德協会感謝状

春の朝サラサラサラと森が鳴く 六年 二宮 光
菜の花が道いっばいにきれいだな 六年 二宮 麻希
竹の子の小さな芽が出てもう春だ 五年 久保 智恵
春の風桜のかおり連れてくる 五年 宇都宮 悠一

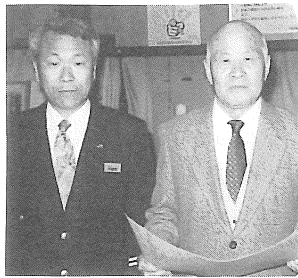
すいせんがおとなりさんとはなし 六 徳山 絵里
一年生歩いていくのはランドセル 六年 岡本 慧太
たけのこがぼっこりぼっこつとびだした 六年 橋本 慶

戒川小学校

かわいいなおたまじゃくしがしつぽふる 二年 久保 智裕
はるのこえみんなたのしくはなして 二年 宮下 友里
たんぽぽがつぼみをだしたお日さまだ 三年 宇都宮 静香
さくらのめそろそろひらききれいだな 四年 二宮 諒多
春のかげすみれにあたるきれいだな 四年 宮下 法子

長浜町長感謝状

三月十四日、J R長浜駅でその伝達式が行われ、宇都宮八幡浜管理駅長より感謝状が手渡されました。



受賞された明関さん(右)

地域福祉向上の功績

三月二十一日、町体育館大ホールで第二十八回長浜町社会福祉大会が開催され、地域の福祉向上に功績のあった方々や団体が、次のとおり表彰されました。

長浜町長表彰

- 【区長多年勤続】浦上茂夫・合田正憲・高岡伸好(以上長浜) 中見藤雄(今坊) 小西長幸・清水武重・吉本武夫(以上柴)
- 【社会福祉功労】尾上千代子(下須戒)

長浜町長感謝状

- 【社会福祉寄付功労】▽団体：伊予長浜ライオンズクラブ(黒田進会長)▽個人：城ヶ瀬三樹雄(沖浦) 岡理三郎(青島) 楠野マサコ(豊茂)
- 【献血運動功労】岡豊(長浜) 西宮潔(柴) 土居浩二(大洲市)

町社協会長表彰

- 【社会福祉功労】岡山和志(長浜小) 菊地美和(大和小) 北岡良浩(豊茂小) 渡邊沙代(白滝小) 大野佐千子(柴)
- 【地域福祉功労】▽団体：松風花の会(長浜) 須沢青壮年部(代表者：西岡敏博) (須沢) 白山老友会(代表者：二宮又晃) (白滝)▽個人：田中智恵子(須沢)

町社協会長感謝状

- 【社協役員多年勤続】平見朝子(出海) 森議(白滝)
- 【社協評議員多年勤続】新山博邦(長浜) 東伊佐男、中見藤雄(以上今坊) 松田英丸(白滝)
- 【社会福祉事業寄付功労】▽団体：愛媛民謡同好会堤教室(代表者：奥野彰一)(仁久) NSK同好会(代表者：白石龜徳)、藤葉流友弥会(代表者：泉友江)、藤間流

藤間伊知郎

- 【共同募金功労】井上邦敏(黒田)

町社協役員感謝状

- 【共同募金功労】井上邦敏(黒田)

交通事故「無事故500日達成」

平成9年3月8日、伊予長浜郵便局(森和重局長)では、平成7年10月25日以来、交通事故「無事故500日」を達成しました。この偉業は、職員、保守店はもとより、地域の方々との絶大な感謝を致しております。達成されたこの日、交通安全週間を記念して、徹底した安全運転の心を指し、無事故1,000日を目指します。

～伊予長浜郵便局～



「目に青葉山時鳥初鯉」山口素堂。5月は木々が若葉して快い時期。空には鯉幟が泳ぎ、日本独特の風情に接する。

5月5日のこどもの日は暦の上では立夏で、多忙な月になる。5月1日のメーデーは、労働者の祭典で、労働者の権利を主張するものであり、日本では大正9年に第1回が行われた。

3日と5日は国民の祝日の一つで、ゴールデンウィークには家族や地域の絆を深める行事も持たれよう。3日の憲法記念日の日を迎えるに当たっては、戦争放棄と戦力不保持や、民主化基本的人権の尊重・自由・平等など、主権在民を強調した点を再点検する必要がある。5日は、子どもの人権を重んじ幸福を願う行事が、家庭・学校・地域が一体となり楽しく実践されよう。

政界の汚職、公費の悪用をはじめ、財界の腐敗は国民の意に反する。青少年のいじめ・非行・自殺・大人による刺殺事件の多さに驚く。町の青少年育成は、教育委員会と各校区毎の組織との連携が密で、成果を上げている。

青少年の健全な育成は町発展の原動力。次代を担う青少年の健全育成に万全を期し、豊かで明るく住みよい長浜町づくりに邁進して欲しい。

人口世帯数

人口をふやしましょう

	3月末現在	前月との比較
人口	10,456人 (男 4,938人) (女 5,518人)	30人減 (男 6人減) (女 24人減)
世帯数	3,688世帯	8世帯減

第3回長浜町健康フェスティバル

～健康は豊かな町の合言葉～

町では、5月25日、ふれあい会館で第3回健康フェスティバルを開催します。

今回は、俳優のケーシー高峰氏を講師に迎え、「人生を楽しく健康で豊かに生きる」と題した記念講演や、ファミリーウォーク、各種健康コーナーなどの企画が盛り

だくさんです。ご近所お誘い合わせご来場下さい。

なお、ファミリーウォークは参加申し込みが必要です。詳しくは、各戸配布のチラシをご覧ください。境課 (☎52-1111(有)2095) までお問い合わせ下さい。



3月届出分(敬称略)

住所氏名

下須戒 西岡 高岡 一秀 美幸



結婚

3月届出分(敬称略)

住所子の氏名 保護者名

豊下長沖出
須戒浜浦海
茂 茂 茂 茂

菊松武二橋
地田田宮本
真*和真ま
子*久樹き麗る^か

繁圭直和宏
雄 司 人 久 尚

○沖浦保育所母の会(矢野和美会
長)：リビングテーブルを沖浦保
育所へ。

寄付採納

合併処理浄化槽設置補助金
目標件数達成により受付締切
四月号でお知らせした、合併
処理浄化槽設置補助金につきま
しては、申込みが予定件数に達
しましたので、本年度の受付を
締切ります。
なお、この制度は、平成十年
度も継続する予定です。

お誕生おめでとう!!
3月届出分(敬称略)



住所氏名

伊予市 長浜 穂積 沖浦 下須戒

早山 楠山 浪宮
田下野本本岡
ル敦幸 早和
ミ 子 悟 美 彦

豊須長櫛仁長豊下白長櫛白白長豊
茂沢浜生久浜茂茂須滝浜生滝滝成島茂
大谷濱山下上政敏ヨシミあさ子(六三)
山田上イ七(九二) 川岡重高(八〇)
昭玉カネコ(七五) タツエ(七八)
男輝(六八) 男輝(六八) シメコ(八八)
(七〇) (七五) (八八) (八八) (九四) (八二) (七六)

おくやみ
3月届出分(敬称略)
住所氏名 死亡時年齢

この四月一日から役場の日直制
度が変わりました。
主な役割は、昼休み時間内の町
民の皆さんからのお電話への対応
で、これまでは女子職員が交替で
職務に当たっていましたが、男女
共同参画型社会の実現への一環と
して、今後は一部例外はありますが
が、男女を問わず殆どの職員が交
替で業務に就くことになりました。
ちょうど私の席は、電話交換機
のすぐそばにあることもあり、人
様々、いろいろな対応の仕方があ
るのだと勉強になっていきます。
電話は、お互いの顔は見えませ
んが、その態度や姿勢は声になっ
て相手に伝わると言われます。ま
ずは、その第一印象が好感の持て
るものとなるべく努めるよう、心
新たにしているところです。(や)

